

別記様式第3号（規格A4）（第4条関係）（その1）

地域医療支援病院名称使用承認申請書

年 月 日

群馬県知事 あて

開設者 〒

住所（法人にあつては、主たる事務所の所在地）

氏名（法人にあつては、名称及び代表者の職氏名）

印

電話番号

医療法第4条第1項の規定により、地域医療支援病院の名称使用の承認を下記のとおり申請します。

記

I 病院の名称等

1 名称

--

2 所在地

〒
電話 ( ) ー 番

3 診療科目

--

4 病床数 (床)

区分	精神	感染症	結核	療養	一般	計
病床数						

(その2)

5 施設の構造設備

施設名	設備概要		
集中治療室	(主な設備)	病床数	床
化学検査室	(主な設備)		
細菌検査室	(主な設備)		
病理検査室	(主な設備)		
病理解剖室	(主な設備)		
研究室	(主な設備)		
講義室	室数	室	収容定員 人
図書室	室数	室	蔵書数 冊程度
救急用又は患者輸送用	(主な設備)		保有台数 台
医薬品情報管理室	[専用室の場合]	床面積	m <sup>2</sup>
	[共用室の場合]	室と共用	

注 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器等を記入すること。

II 地域医療支援に係る体制等の整備状況

注 下記の1から6までの事項については、それぞれ別業により作成しても差し支えないこと。

1 他の病院又は診療所から紹介された患者に対し、医療を提供する体制の整備状況

地域医療支援病院紹介率	%	算定期間	年 月 日 ～ 年 月 日
地域医療支援病院逆紹介率	%		
算出根拠	A：紹介患者の数（開設者と直接関係のない他の病院又は診療所から紹介状により紹介された者の数。初診の患者に限る。）		人
	B：救急患者の数（緊急に入院し、治療を必要とした救急患者の数。初診の患者に限る。）		人
	C：初診患者の総数		人
	D：休日又は夜間に受診した救急患者の数（初診の患者に限る。）		人
	E：休日又は夜間に入院し、治療を必要とした救急患者の数（初診の患者に限る。）		人
	F：他の病院又は診療所に紹介した患者の数		人

- 注 1) 地域医療支援病院紹介率欄は、 $A + B$ を $C - (D - E)$ で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。  
それぞれの患者数については、前年度の延べ数を記入すること。
- 2) 地域医療支援病院逆紹介率欄は、 $F$ を $C - (D - E)$ で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。  
それぞれの患者数については、前年度の延べ数を記入すること。
- 3) 地域医療支援病院紹介率が60%以上80%未満の病院にあつては、承認後2年間で地域医療支援病院紹介率を80%以上とするための具体的な年次計画を併せて提出すること。

(その3)

2 地域医療従事者による診療、研究又は研修のための利用（共同利用）に係る体制の整備状況

(1) 共同利用の実績

① 前年度において共同利用を行った医療機関の延べ数：	件
② これらの医療機関のうち開設者と直接関係のない医療機関の延べ数：	件
③ 共同利用に係る病床の病床利用率：	%

注 前年度において共同利用を行った実績がある場合において、当該共同利用を行った医療機関の延べ数、これらの医療機関のうち開設者と直接関係のない医療機関の延べ数、共同利用に係る病床の病床利用率等を明記すること。

(2) 共同利用の範囲等

①共同利用を行った建物、設備、器械又は器具の名称：
②開放病床： 床

注 当該病院の建物の全部若しくは一部、設備、器械又は器具のうち、共同利用の対象とする予定のものを明記すること。

(3) 共同利用の体制

共同利用に関する規定の有無	有 ・ 無			
利用医師等登録制度の担当者	氏名		職種	

注 共同利用に関する規定がある場合には、当該規定の写しを添付すること。

(4) 登録医療機関の名簿

医療機関名	開設者名	所在地	主たる診療科	地域医療支援病院開設者との経営上の関係

注 当該医療機関と同一の二次医療圏に所在する医療機関のみ記入すること。

常時共同利用可能な病床数	床
--------------	---

3 救急医療提供体制の整備状況

(1) 重症救急患者の受入れに対応できる医療従事者の確保状況

No.	職種	氏名	勤務の態様	勤務時間	備考
			(常勤 非常勤) (専従 非専従)		
			(常勤 非常勤) (専従 非専従)		
			(常勤 非常勤) (専従 非専従)		

(その4)

(2) 重症救急患者のための病床の確保状況

優先的に使用できる病床	床
専用病床	床

注 一般病床以外の病床を含む場合は、病床区分ごとに記載すること。

(3) 重症救急患者に必要な検査及び治療を行うために必要な診療施設の概要

施設名	床面積	設備概要	24時間使用の可否
	m <sup>2</sup>	(主な設備)	
	m <sup>2</sup>	(主な設備)	
	m <sup>2</sup>	(主な設備)	

(4) 備考

--

注 特定の診療科において、重症救急患者の受入体制を確保する場合には、その旨を記載すること。

既に、救急病院等を定める省令（昭和39年厚生省令第8号）に基づき都道府県知事の救急病院の認定を受けている病院又は救急医療対策の整備事業について（昭和52年7月医発第692号各都道府県知事宛て厚生省医務局長通知）に基づき救急医療を実施している病院にあつては、その旨を記載すること。

#### 4 地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修実施体制の整備状況

(1) 研修の内容

①医学又は医療に関する講演会（学術講演会）：	回
②地域の医師等を含めた症例検討会	： 回
③その他の研修会	： 回

(2) 研修の実績

研修者数	人
------	---

注 前年度の研修生の実数を記入すること。

(その5)

(3) 研修の体制

①研修プログラムの有無 有・無

②研修委員会設置の有無 有・無

③研修指導者

研修指導者氏名	職種	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
				年	
				年	

注 教育責任者については、特記事項欄にその旨を記載すること。

(4) 研修実施のための施設及び設備の概要

施設名	床面積	設備概要
	m <sup>2</sup>	(主な設備)
	m <sup>2</sup>	(主な設備)

5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	
管理担当者氏名	

記録の種類	保管場所	分類方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約		
病院の管理及び運営に関する諸記録	共同利用の実績	
	救急医療の提供の実績	
	地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修の実績	
	閲覧実績	
	紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績の数を明らかにする帳簿	

注 1) 保管場所欄には、当該記録を保管する部署名を記入すること。

2) 分類方法欄には、諸記録の分類方法及び管理方法の概略を記入すること。

(その6)

6 病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績

閲覧責任者氏名	
閲覧担当者氏名	
閲覧の求めに応じる場所	
閲覧の手続の概要	